めざす学校像 | 子どもが主人公の学校



学校長の願い「自の心を育む」

【こんな姿が積み上がるように】

高学年:人のためにやる (だまかを笑顔にだまかを幸せに)

中学年:自分から進んでやる

低学年:好きなことに浸りこんでやる

自主学習の取組

- ○授業の中で経験してきた「学び方」を活かしての取組
- ・自主学習の手引きの配布
- ・自主学習ウイーク(年3回)の実施
- ・成果発表の場の設定…にじやすコンサート川西ギャラリー他
- ・自主学習のまとめ(スライド・冊子)の作成

特別活動の充実

… 主として、児童会活動の充実 …

豊かな関わりの取組

- •挨拶運動の推進
- ・なかよし学級活動の充実

体力向上の取組

- ・体幹トレ、コーディネーション
- ・冬の体力づくり旬間

不登校・不適応への対策の充実

- ○外部支援者を含めたチームでの対応
- ・支援会議での提案に向けた関係者会議の設定
- ・教育相談COを中心にした支援会議での支援策の検討
- ·SSWの仲介も含めた外部機関との連携
- ○児童アンケートの実施と予防的支援の充実
- ○校内支援体制・環境の整備(にこにこルームの機能充実等)
- ○中学校への移行支援の充実

学校教育活動の「主」を育てる取組

全校研究テーマ 「子どもが自ら考え、動く姿を目指して ~自分を超えるために~」

- ○「主体的・対話的で深い学び」の実現【重点Ⅰ】
- ・教師主導から「児童が学びの主になる授業」への転換を図る
- ・自由進度学習の試行
- ・ICT機器の有効な利活用
- ・授業評価から指導へのフィードバックの充実
- ・学校生活全般におけるUD化の推進
- ○「探究的な学習」の充実【重点2】
- ・川西の自然・歴史・人・文化等、地域に学ぶ学習
- ・教科学習で学んだことを実践的に活かす、体験活動を重視した学習
- ・自主学習の取組を支える学び方の学習
- ・総合的な学習の時間・生活科・教科横断的な学習の充実
- ・学びの多様性の重視

①重点研究

- A 自由進度学習部会
- B UD化·特別支援教育部会
- ②教師自らが「主体的・対話的」に取り組む 相互参観授業
- 「見てもらう授業」+「見させてもらう授業」

上小教育課程研究協議会 「特別支援教育」会場校とし ての研究を、重点研究に位置 づける。

<令和6年度重点目標> 自分を超える



特別支援教育の充実

- ○校内教育支援委員会の充実
 - ・特支COを中心にした、児童理解を基にした支援策の検討
- ・保護者と共に作成する個別の指導計画とその見返し
- ○通常学級における特別支援教育の充実【重点3】
- ・授業のユニバーサルデザイン化の推進
- ○特別支援学級と原級との連携
- ・どう伸ばすか、どこで伸ばすか、どうやって伸ばすかの検討

川西小コミュニティスクールとの連携

- ・川西小CSに対する児童の願いの反映
- ・コロナ禍以前より積極的な学校支援ボランティアの導入
- ・学校運営協議会の充実

全ての教育活動における人権教育

- ○誰にとっても居心地のよい学級になることを目指す「学級会」の取組 ○全校児童が関わり合い、支え合う児童会活動 ○Q-U、アセスの実施 ○教育相談週間
- ○床を磨き、心を磨く清掃活動「あとみよそわか」の取組 ○日常的に行う、自尊感情を高め、自己有用感を得られる学級での取組 ○なかよし月間

めざす学校像 2 誰もが輝ける学校